

W32-DMM5A

エーディーシー

デジタルマルチメータ MAX5台 データ連続取込ソフト

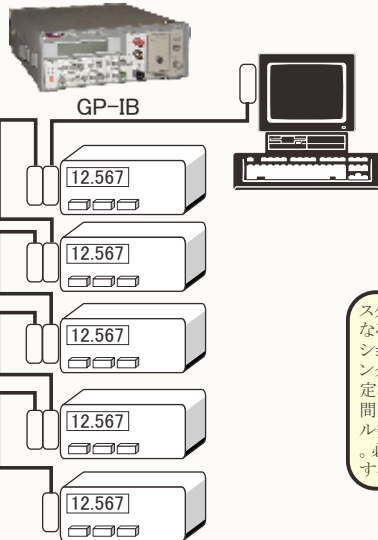
使用できる機種

TQ8215(光パワーマルチメータ),R6551,R6552,
R6552T,R6552T-R,TR6845,TR6846,TR6847,
TR6848,R6441A/B/C/D,R6581,R6581D

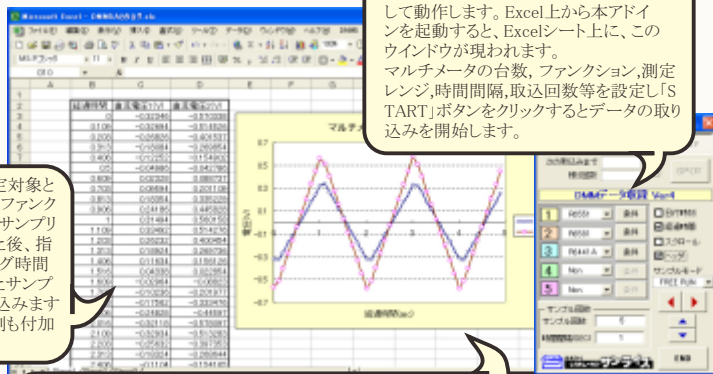
品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-DMM5A-R	ラトックシステム製	250,000円	Windows7/8.1/10/11 (64bit版推奨) Excel2010/2013/2016 2019/2021(32bit Only)
W32-DMM5A-N	NI製		

TQ8215,R6551,R6552,TR6845,TR6846,TR6847,TR6848は、エーディーシー社の商標です。

機能



- ・データロガーとしての活用
指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。取り込み可能なマルチメータの数は最大5台です。各マルチメータのGP-IBアドレスは重複しないように設定してください。
- ・製品検査への活用
被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。(スポットモード)
- ・LONG-IT機能のサポート
R6552では、10msから60sまでの任意の積分時間が設定可能です。
- ・マルチメータの設定
各マルチメータのファンクションやレンジの設定は、パソコンが行います。
- ・対応機種リストに無い測定器のデータも受信できます。



スタートすると、測定対象となるマルチメータのファンクション・測定レンジ・サンプリング速度を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することができます。

本プログラムはExcel97上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。マルチメータの台数、ファンクション、測定レンジ、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取込みを開始します。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。

測定中は、下記のように縮小表示となります。



操作説明

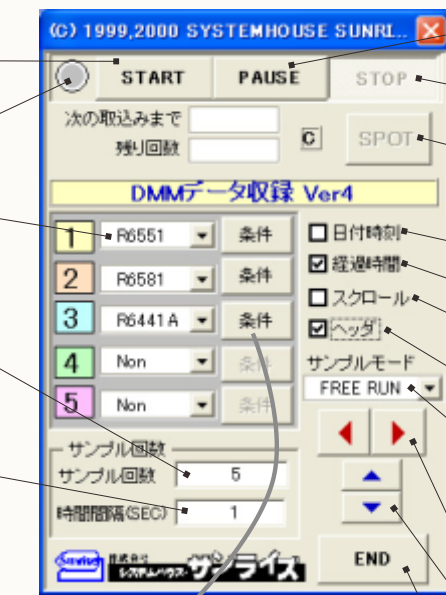
測定器からデータの取込を開始します。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

測定するマルチメータの型式を指定します。「Non」は、「使用しない」を意味します。「汎用」は、このリストに表示されない他のマルチメータ等のデータを取込む場合に指定します。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、200,000回と解釈されます。入力できる最大回数は、200,000回です。

データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。



「条件」測定器の設定条件を入力します。次ページの説明を参照ください。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

「PAUSE」中、有功となり、クリックする毎にデータを取込みます。また、下記の「スポットモード」での測定に使用します。

データに日付時刻を付加します。

測定開始からの経過時間をデータに付加します。

データの入力と共にシートをスクロールします。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。

サンプリング・モードを指定します。「HOLD」は、指定された時間間隔で各マルチメータにパソコンからトリガをかけます。「FREE RUN」では、測定中は常にマルチメータは表示を更新しています。複数台のマルチメータのサンプリングを同期させたい場合はHOLDで測定することをお勧めします。

Excelシート上のカーソルを左右・上下に移動します。Excelシート上のカーソルを移動しデータ取込開始位置を決定します。「Start」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向ヘッダを取込みます。

アドインを終了します。

スポット測定モードの使用方法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット測定モード」では、「経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。「スポット測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。